

B001

すずき らな

[工芸工業デザイン学科]



びりり

本を読むと「あたらしいこと」がおこります。
真っ白な画用紙で例えれば、それが破れ、鮮やかな色に染まります。
破れた隙間には、また新しい世界が広がっているのです。

B002

佐々木真葉 (ささき まよ)

[基礎デザイン学科]



はまっちゃいました。

ページの間に挟むと、女の子が本の中にはまってしまったようにみえます。思わず物語にはまって、ぬけだせなくなる人は、ぜひ使ってみてください。お気に入りの本をさりげなく人にアピールすることもできるでしょう。

B003

みやたまなか

[基礎デザイン学科]



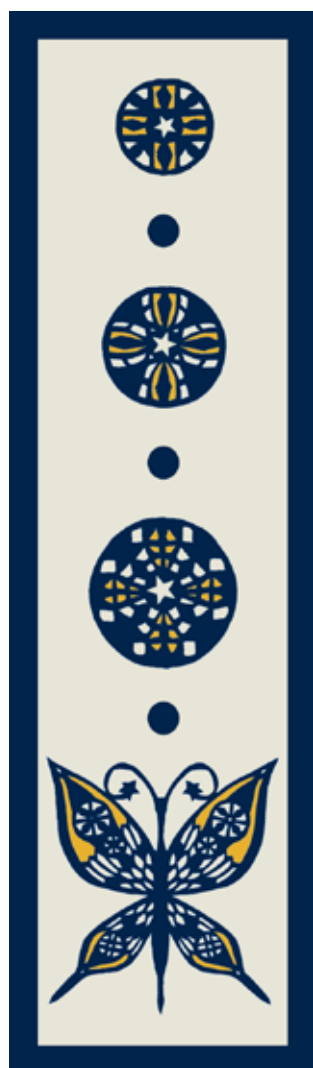
森のしおり

森の中でひとやすみ。
よく見ると誰かが……。

B004

kaho

[油絵学科 版画専攻]



時を忘れて

「本を読んでいると時間を忘れてしまう」=本の虫になってしまう、
そんな様子を抽象的に表現しました。

元は切り絵として制作し、しおりらしく編集しました。

B005

本多雅子 (ほんだ まさこ)

[武蔵野美術学園 絵画専攻]



伝授

文字と原始的な生物のイメージで、蛇のようなものを描きました。
命と文字で表記されたものが、
次の世代へ伝授されるという文字文化の時間的経緯を表しました。

B006

ちりめんじゃこ

[基礎デザイン学科 卒業生]



読書の宇宙

本は自分の知らないたくさんの世界に連れて行ってくれます。本を読むことで、たくさんの世界が宇宙のように広がってほしいと思って制作しました。

B007

yoshino sahoko

[視覚伝達デザイン学科]



花と女の子

本を開くと女の子がこちらを見ている。

彼女が再び本の世界へいざなってくれる。

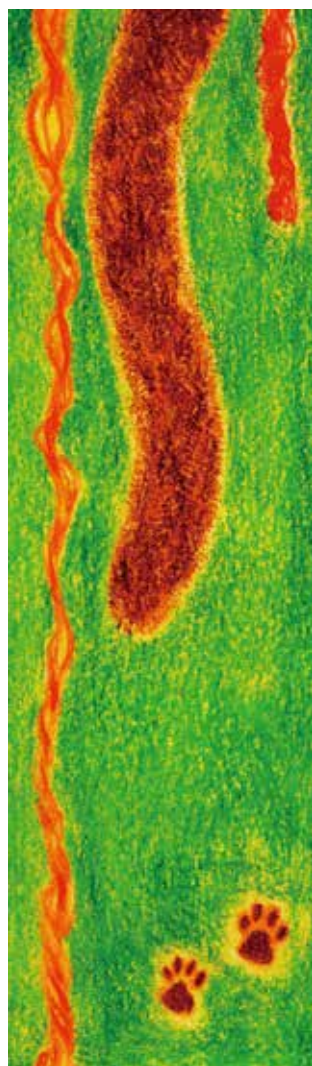
読みかけの本を閉じるとき、「またね。」と微笑む。

このように、本を開いたときのしおりとの関係性に注目して制作しました。

B008

Toki.Kudo

[基礎デザイン学科]



ねこのしっぽ

本の葉紐が猫のしっぽに似ているなという発想から製作しました。
可愛らしい印象を出したかったので、色鉛筆で仕上げてみました。
猫本体は描かず、毛糸や足跡でねこのしっぽだとわかるようにデザインしています。

B009

菱沼理来 (ひしぬま りく)

[デザイン情報学科]



おしゃれフラワー

アクセサリーやバッグと同じように、しおりもファッションの一部。
使っていて自慢したくなるような、本も輝くしおりをつくりたいと思いました。

B010

茅根 悠子 (ちのね ゆうこ)

[デザイン情報学科]



星空の本

本を開くと、オリオン座の輝く星空が広がる——本を読むときに、本の世界に惹き込まれるイメージを描きました。

つい手に取って使いたくなる魅力的なしおりを作りたいと考え、オリオン座の美しい形と輝きをそのまま再現しました。

B011

SAAYA MASAKI

[大学院 造形研究科 美術専攻 版画コース]



まひるのうみ

真昼のあかるい海の世界をイメージして制作しました。
一番上の“B”はBOOKの文字を表しています。

B012

桂ゆうすげ (かつら ゆうすげ)

[基礎デザイン学科 卒業生]



すごく面白い本

一冊の本を夢中で読む人たち。

面白い本は多くの人を幸せにするという考えを視覚的に表現しました。

B013

YUMI KOMAMI

[基礎デザイン学科]



本で広がる世界

言葉を辿るたび、思考が広がってゆく。

すでに知っていた色と今初めて知った色。

それらがごく自然に混ざり合って新しい私をかたちづくる。

B014

宮崎 歩 (みやざき あゆみ)

[デザイン情報学科]



オリオンをなぞる

夜の星と星をつなげた星座をイメージして描いた。

夜の空に浮かぶ無数の星々。

無限に続いていく宇宙の広がりを感じてもらえると嬉しい。